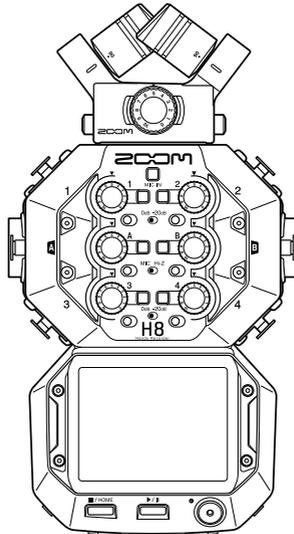


ZOOM®

H8

Handy Recorder



クイックガイド

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOMのWEBサイト (www.zoom.jp/docs/h8) からダウンロードできます。このページには、PDF形式とePub形式のファイルがあります。PDFは、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。ePubは、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式で電子書籍リーダーで読むことができます。

© 2020 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

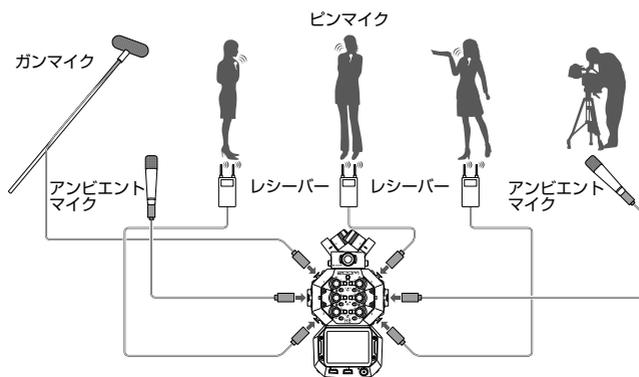
文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

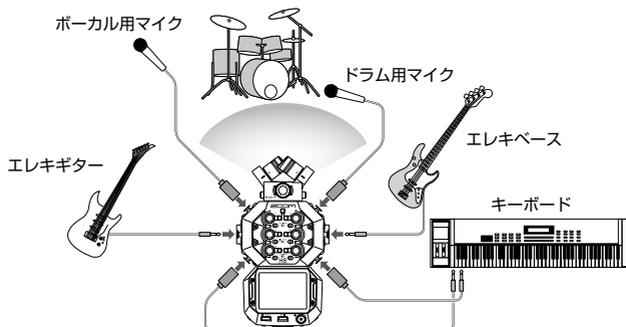
本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

接続例

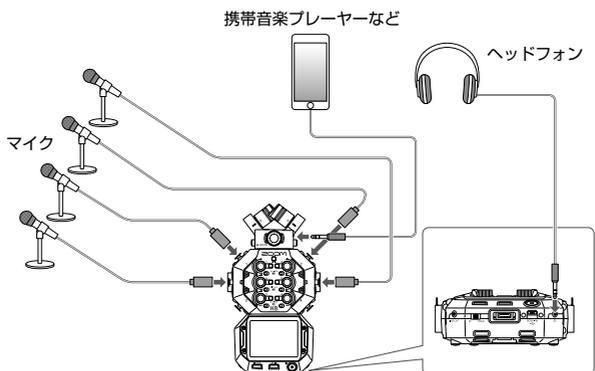
■フィールドレコーディング



■音楽制作



■ポッドキャスト

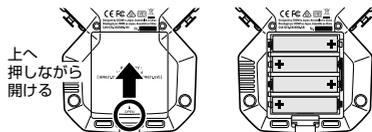


準備

電池／SDカードをセットする

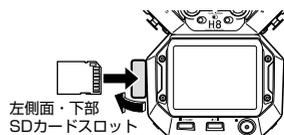
■電池をセットする

1. 電源を OFF にしてから、電池カバーを開けて電池を取り付ける



■SDカードをセットする

1. 電源を OFF にしてから、SD カードスロットカバーを開けて SD カードを挿し込む



SD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。

NOTE

- ・ アルカリ乾電池、ニッケル水素蓄電池、またはリチウム乾電池を使ってください。
- ・ 電池残量を正確に表示するためには、ホーム画面>システム>電池設定から電池の種類を設定する必要があります。
- ・ SD カードは最初に H8 で初期化する必要があります。初期化は、ホーム画面>SD カード>フォーマットから行ってください。

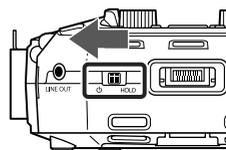
HINT

USB 端子に専用の AC アダプター (ZOOM AD-17) を接続すると、AC 電源を使用することができます。

電源を ON/OFF する

1.  HOLD を  側にスライドして、電源を ON にする

電源を OFF にするには、ZOOM のロゴマークが表示されるまで  を  側にスライドし続けてください。



NOTE

- ・ 「SD カードがありません!」と表示されたら、SD カードが正しくセットされているか確認してください。
- ・ 「SD カードが書き込み禁止です!」と表示されたら、SD カードに書き換え保護がかかれています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。
- ・ 「不正な SD カードです!」と表示されたら、フォーマットが不正です。初期化するか、別のカードを使用してください。

HINT

 **HOLD** を [HOLD] 側にスライドしておくともキー操作およびタッチスクリーンの操作を無効にすることができます。

言語の設定（初回起動時）

ご購入後、はじめて電源を ON にした後は、表示言語の設定画面が表示されるので、タッチスクリーンの表示言語を設定します。

1. 設定したい言語をタップする



HINT

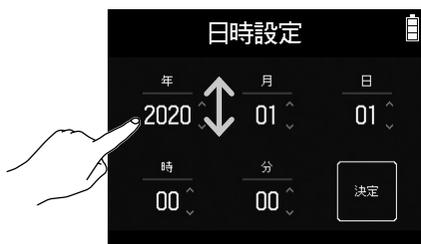
表示言語は、ホーム画面 > 言語設定で、後から設定し直すことができます。

日付／時刻の設定（初回起動時）

言語設定の後、日付／時刻の設定画面が表示されるので、日付時刻を設定します。

1. 日付と時刻をスワイプさせて設定する

2. [決定] をタップする



HINT

日付／時刻は、ホーム画面 > システム > 日付／時刻 > 日時設定で、後から設定し直すことができます。

画面表示

H8 では、画面をタップ/スワイプ/スライドすることによって設定/調節したい機能を選択することができます。

■ホーム画面

H8 を起動すると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面からは、3つの録音アプリや各種の設定画面などを起動できます。

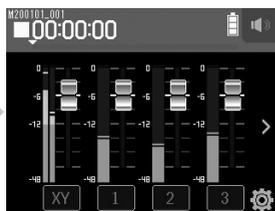


- ・アイコンをタップしてアプリを起動する
- ・/HOME を押してホーム画面に戻る



■フィールドアプリ

XYマイクを使用してフィールドレコーディングする時に使います。
また、外部マイクを使用した映画やビデオの音声収録、ライブコンサートのレコーディングなどに適したアプリです。



■ミュージックアプリ

音楽制作するときに使います。
ボーカルや楽器のパンチイン/アウト機能に加え、各トラックの音量や定位を設定してミックスダウンまで行える、音楽制作に適したアプリです。



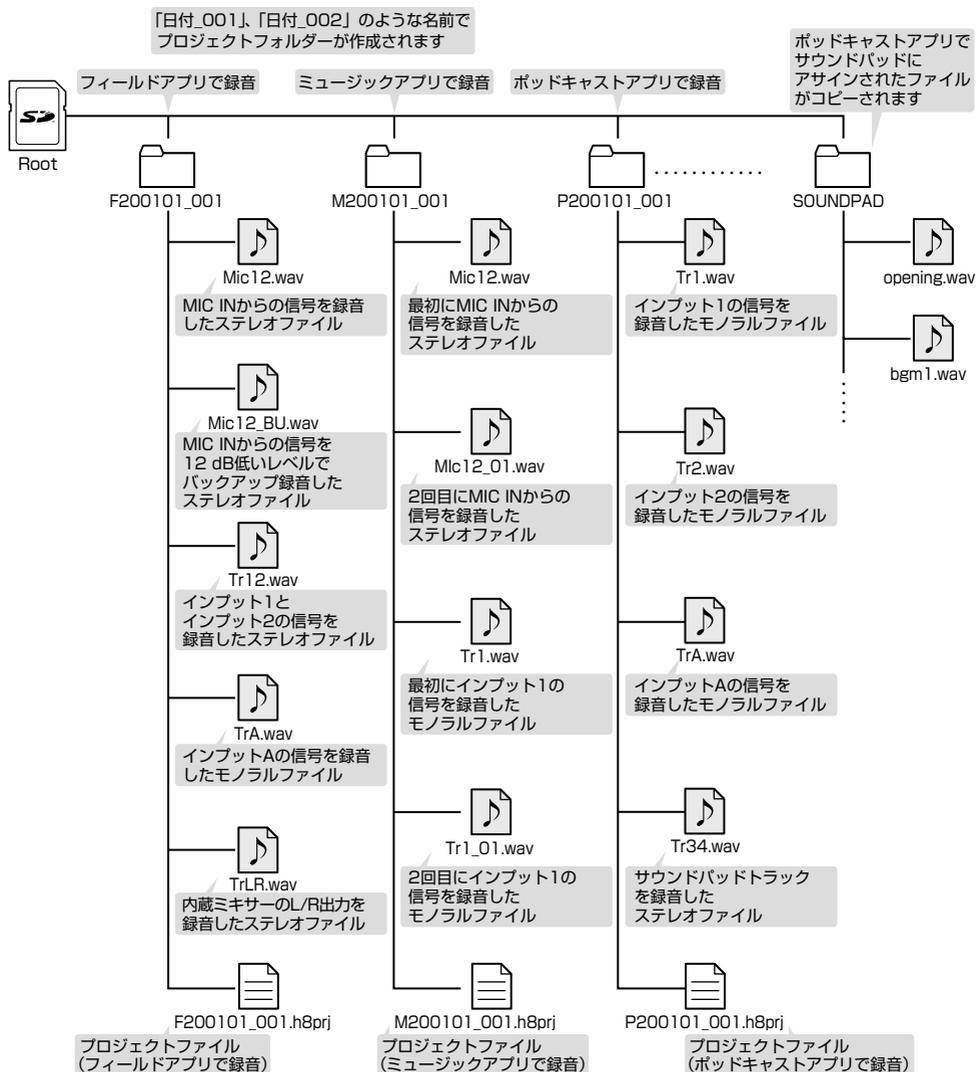
■ポッドキャストアプリ

ポッドキャスト用の配信音源の制作やライブストリーミングに適したアプリです。
タップ一つでジングルや効果音などを再生できるサウンドパッドも使用できます。

H8のフォルダー・ファイル構成

H8で録音すると、SDカードに下記のようなフォルダー・ファイルが作成されます。作成されたプロジェクトは、3つのアプリ（フィールドアプリ、ミュージックアプリ、ポッドキャストアプリ）の全てで使用することができます（Wav 96 kHz/16-bit、Wav 96 kHz/24-bitの録音と再生は、フィールドアプリだけが対応しています）。

H8では、録音・再生するデータの単位をプロジェクトと呼びます。



入出力の設定

入力ソースを設定する

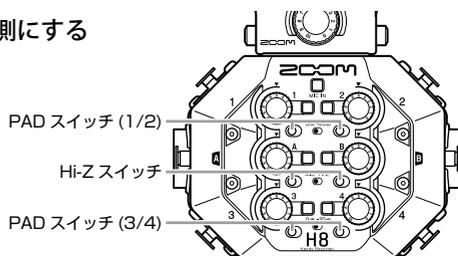
インプット 1～4、A/B に接続する機器に合わせて設定します。

■ミキサーなど出力基準レベルが +4 dBu の機器の場合（インプット 1～4）

1. 該当する PAD スイッチ (○) を [-20dB] 側にする

■ギターなど出力インピーダンスの高い機器の場合（インプット A/B）

1. 該当する Hi-Z スイッチ (○) を [Hi-Z] 側にする



HINT

一般的なマイクを接続する場合は PAD スイッチを [0dB] 側にしてください。

■コンデンサマイクなどファンタム電源を必要とする機器の場合（インプット 1～4、A/B）

1. ・フィールドアプリ画面 > > トラックを選択する
・ミュージックアプリ画面 > トラックを選択する >
・ポッドキャストアプリ画面 > > トラックを選択する
の順にタップして選択する

2. [ファンタム電源] をタップする

3. [オン/オフ] をタップして [オン] に設定する



NOTE

- ・ ファンタム電源に対応していない機器を接続する場合は、ファンタム電源をオンにしないでください。機器が破損することがあります。
- ・ ダイナミック方式のマイクを接続する場合、ファンタム電源を供給する必要はありません。

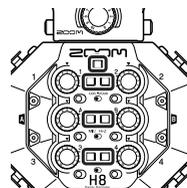
HINT

ファンタム電源の電圧は、+48 V の他に、+24 V に設定することができます。

トラックを有効にする（ステレオリンク）

録音するトラックを MIC IN、1～4、A/Bの中から選択します。
トラック MIC IN、1～4、A/Bは、それぞれ MIC IN、インプット
1～4、A/B に対応しています。

1. 録音アプリを起動して、録音したいトラックのトラックキー（）を押して、対応するトラックインジケータの LED を赤色に点灯させる



HINT

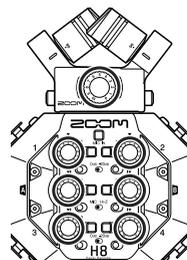
隣り合う2つのトラックキー（1と2、3と4、AとB）のうち、片方を押しながらかもう片方を押すと、その2つのトラックはステレオトラックになり、SDカードにはステレオファイルが作成されます（ステレオリンク）。ステレオリンクを解除するには、同じ操作を行ってください。

入力レベル（トリム）を調節する

高音質で録音するために入力レベルを調節します。

1. 選択したトラックに対応する  を回して入力レベルを調節する

レベルメーターのピークレベルが -12 dB
付近で維持されるように調節します。



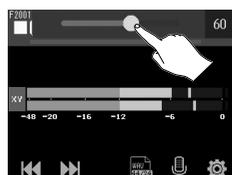
ヘッドフォン・スピーカーレベルを調節する

ヘッドフォンなどを使用して入力/再生音をモニタリングし、レベル（音量）を調節します。

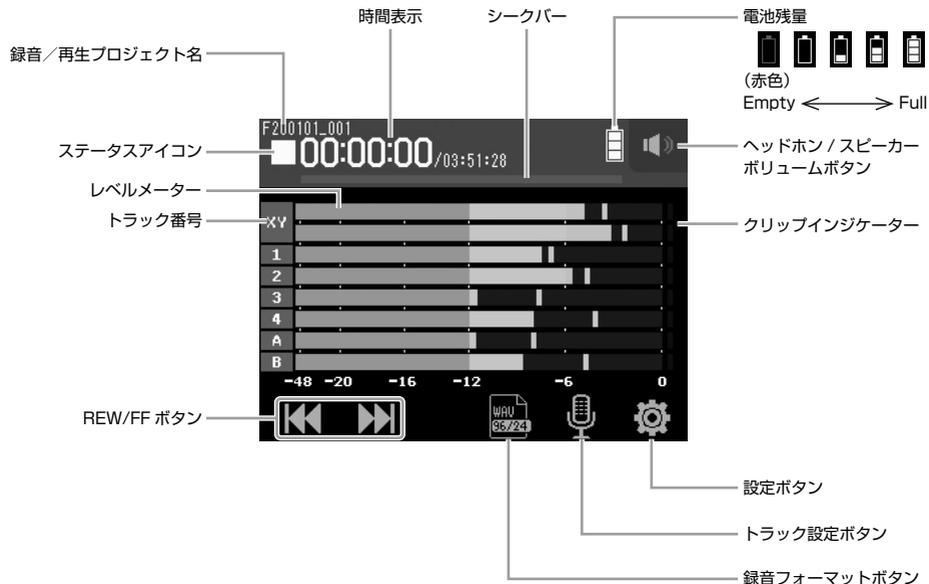
1. 画面右上の  /  をタップする

ヘッドフォンを接続していないときはスピーカーアイコンが表示されます。

2.  をスライドして音量を調節する
3. 調節が終わったら、画面右上の音量表示をタップする



フィールドアプリを使う



録音する

1. フィールドアプリ画面で を押す

■録音中の操作

操作内容	キー操作
一時停止／録音再開（マークをつける）	 を押す
停止	 /HOME または  を押す

NOTE

- 一時停止を行ったときは、停止位置にマークがつかます。
- マークは1プロジェクトに最大99個つけられます。
- フィールドアプリとポッドキャストアプリで録音中に、録音ファイルのサイズが2GBを超えたときは、新しいプロジェクトフォルダーが自動的に作成され、録音は継続されます。各ファイルの間で音飛びが発生することはありません。
- 大きな音が入力されると、トラックインジケータ（LED）が点滅し、クリップインジケータが点灯します。クリップインジケータが点灯しないように入力レベルを調節してください。

再生する

1. フィールドアプリ画面で を押す

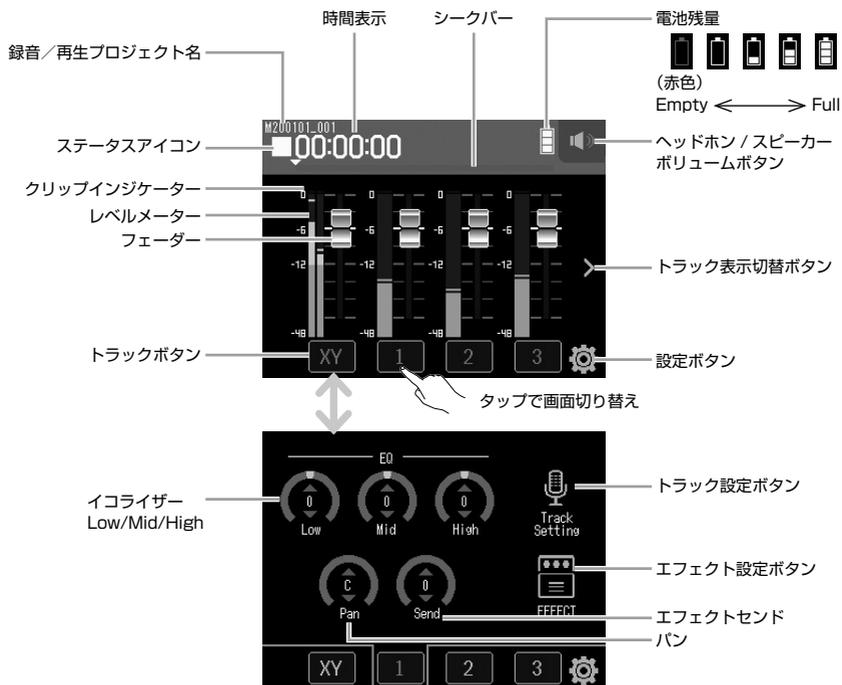
■再生中の操作

操作内容	タッチスクリーン / キー操作
再生プロジェクトの選択 / マーク位置の頭出し	 をタップする
早送り / 早戻し	 を長押しする  を左右にスライドする
一時停止 / 再生再開	 を押す
停止	 / HOME を押す

その他の機能

機能名	機能内容
自動録音	入力レベルに応じて、自動的に録音を開始 / 終了させることができます。
プリ録音	 を押した時点から最大で 6 秒までさかのぼって録音できます。
サウンドマーカー	録音開始時と終了時に、PHONE OUT 端子および LINE OUT 端子から 0.5 秒間のトーン信号（サウンドマーカー）を鳴らすことができます。サウンドマーカーは録音ファイルにも書き込まれるため、動画の音声を H8 で録音する場合、カメラ側に H8 の出力信号を入力しておくことで、動画との位置合わせが簡単になります。
バックアップ録音	MIC IN に 2ch までのマイクカプセルを使用した時に、設定した入力レベルから 12 dB 低い録音レベルで別のバックアップ録音ファイルを記録することができます。通常の録音ファイルの録音レベルが高すぎて歪んでしまったときなどに、差し替えることができます。
L/R トラック録音	内蔵ミキサーの L/R 出力を録音したステレオファイルを同時に作ることができます。

ミュージックアプリを使う



新規プロジェクトを作成する

ミュージックアプリでは、録音を始める前にプロジェクトを作成する必要があります。

1. ミュージックアプリ画面 > > [新規プロジェクト] > [録音フォーマット]の順にタップして選択する
2. 録音フォーマット設定値をタップして選択し、 をタップする
3. [作成] をタップして、プロジェクト名を入力する
4. [Enter] をタップする

NOTE

新規にプロジェクトを作ったときは、録音トラックが全てオフになるため、設定をやり直してください。

HINT

- ・ 設定できる録音フォーマットは、Wav 44.1 kHz/16-bit、Wav 44.1 kHz/24-bit、Wav 48 kHz/16-bit、Wav 48 kHz/24-Bit です。
- ・ エフェクトは、録音フォーマットが Wav 44.1 kHz/16-bit または Wav 44.1 kHz/24-bit のときだけ使用できます。
- ・ 既存のプロジェクトを開く場合は、 > [プロジェクト] から選択してください。

入力信号のモニターバランスを調節する

1. ミュージックアプリ画面でフェーダー () を上下にスライドして調節する

録音する

1. ミュージックアプリ画面で  を押す

録音待機状態になります。

■録音中の操作

2.  を押す

録音が始まります。

操作内容	キー操作
一時停止／録音再開	 を押す
停止	 または  を押す

再生する

1. ミュージックアプリ画面で  を押す

■再生中の操作

操作内容	タッチスクリーン／キー操作
早送り／早戻し	 を左右にスライドする
一時停止／再生再開	 を押す
停止	 を押す

その他の機能

機能名	機能内容
エフェクト	楽器や声などの原音を加工します。ZOOMのエフェクターと同等のエフェクトを搭載し、様々な楽器にエフェクトをかけることができます。無料のエフェクト管理ソフトウェア Guitar Lab を使用すると、オンラインで配信されるエフェクトの追加や、パッチメモリの編集／バックアップなどをパソコン (Mac/Windows) で行うことができます。
メトロノーム	楽器演奏を録音する際に便利です。
ファイル割り当て	他プロジェクトで録音されたトラックファイルを任意のトラックに割り当てることができます。
パンチイン／パンチアウト／新ファイルに録音する	すでに録音されているトラックの一部分のみ、または最初から新しく録音し直す機能です。
ミックスダウン	複数トラックの音源の音量やパン、EQ、エフェクトを調節し、ミキシングされたステレオトラックのファイルを作ることができます。

ポッドキャストアプリを使う



録音する

1. ポッドキャストアプリ画面で を押す

■録音中の操作

操作内容	キー操作
一時停止 / 録音再開 (マークをつける)	 を押す
停止	 / HOME または  を押す

NOTE

ポッドキャストアプリではサウンドパッドの信号をミックスしたステレオファイルが作成され、インプット 3、4 は使用できません。

再生する

1. ポッドキャストアプリ画面で を押す

■再生中の操作

操作内容	タッチスクリーン / キー操作
再生プロジェクトの選択 / マーク位置の頭出し	 /  をタップする
早送り / 早戻し	 /  を長押しする  を左右にスライドする
15 秒スキップ	 /  をタップする
一時停止 / 再開	 を押す
停止	 / HOME  を押す

その他の機能

機能名	機能内容
サウンドパッド	オーディオファイル (WAV フォーマット) を割り当て、タッチスクリーンのボタンが押されると、そのファイルを再生します。ポッドキャスト配信やストリーミング、演劇時やバンド演奏時の効果音を出したいときなどに便利です。 H8 には 13 個のサウンドが内蔵されており、工場出荷状態ではその中から 4 つがサウンドパッドに割り当てられています。
エフェクト	楽器や声などの原音を加工します。ZOOM のエフェクターと同等のエフェクトを搭載し、様々な楽器にエフェクトをかけることができます。無料のエフェクト管理ソフトウェア Guitar Lab を使用すると、オンラインで配信されるエフェクトの追加や、パッチメモリの編集 / バックアップなどをパソコン (Mac/Windows) で行うことができます。
L/R トラック録音	内蔵ミキサーの L/R 出力を録音したステレオファイルを同時に作成することができます。



株式会社ズーム

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com